

年頭のごあいさつ

市民福祉の 向上と まちづくり

下関市議会議長 亀田 博



新年明けましておめでとう
ございます。

市民の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

また平素より、市議会に対して温かいご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、私たちは、ワクチン接種をはじめマスクの着用、手指消毒の徹底、三密の回避など感染症予防を行う傍ら、外出や移動の自粛に伴い、オンライン会議の開催やテレワークなど「新しい生活様式」を体験し、コロナ禍であっても社会経済活動を維持するためのいろいろな取り組みを行ってまいりました。

そのような中、本市では明るい話題も多くありました。その1つは、夏の全国高等学校野球選手権大会で下関国際高等学校が見事準優勝に輝いたことです。

また「くじらの街下関」を推進する本市で、新たな捕鯨母船が建造されることが決定されましたが、捕鯨基地として栄えた下関のまちの活力をよみがえらせる可能性を秘めており、今後が期待されるとこ

ろです。

さらに、コロナ禍により、本市の社会経済は厳しい状況が続いておりますが、市が策定した火の山エリアの目指すべき将来像や海峽エリアビジョンなどについてもその実現が待たれるところであります。

市議会におきましては、市民の皆さまと議員が直接意見交換を行う「市民と議会のつどい」を3年ぶりに開催しました。市内の大学生の協力の下、ワークショップ形式で選挙の投票率の向上、人口の増加や定住対策、市の活性化について、次代を担う若者の率直な意見や提案をいただき、諸課題の解決に取り組むことができました。

本年も、市議会は、議員全員がその役割と使命を十分に自覚し、市民の皆さまの負託と期待に応え、市民福祉の向上と住み良いまちづくりのため責務を全うする所存ですので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症が克服され、社会経済が安定し、活性化することを切に願うとともに、市民の皆さまにとって、本年が実り多い、明るい一年となります

ことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

公職にある者のあいさつ状(年賀状、暑中見舞い状など)は、公職選挙法で禁止されています。

下関市議会では、答礼を含めてすべてのあいさつ状を自粛していますので、市民の皆さまのご理解をお願いいたします。

皆さまにとって幸多き新春となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

下関市議会

今後の予定

例年3月に第1回定例会を開催していますが、2月に市議会議員一般選挙が行われるため、今後の議会日程は、決まり次第、市議会HPでお知らせします。

国議会事務局議事課

☎231-4121 FAX 234-5171

✉gkgijika@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

